

学校アンケートへのご協力、本当に有難うございました。

12 月初旬に実施いたしました学校アンケートではお忙しい中、ご協力いただき本当に有難うございました。

アンケートの集約と結果の概要がまとまりましたのでお知らせいたします。生徒の評価は、ほとんどの項目で昨年度の結果を上回るよい評価でした。保護者の評価も、ほとんどの項目で昨年度を上回るか同程度の結果で、8 割の保護者の方から肯定的な評価をいただくことができました。

(この数字は、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた割合です。)

「学校教育目標実現に向けた努力」「充実した学校生活」「キャリア教育の推進」「道徳・人権教育の充実」「仲間づくり」「危機管理体制」「保護者・地域との連携」「情報の発信・受信」の各項目の設問に対して保護者の 8 割以上が肯定的に回答されています。中には、「充実した学校生活」「危機管理体制」の項目に関しては 9 割近い高い評価をいただくこともできました。本校をよりよい学校にするためこれからも努力を続けていく所存ですが、職員にとっては大きな励みとなるものでした。一方で「不十分」との回答があることも重く受け止めたいと考えます。

本年度は、①確かな学力の育成・②豊かな人間性の育成・③主体的に生きる力の育成・④自己管理能力の育成の 4 つを大きな努力目標の柱に設定し、取り組みました。

①については基礎基本を明確にし、授業改善・工夫を行うことでわかる授業をめざしました。生徒の評価は、どの学年においても 9 割以上が「わかりやすい授業」と評価しています。但し、約 1 割の生徒は、「そうではない」と回答していることから意欲を引き出す授業作り、放課後や長期休業中の補充学習の実施、家庭学習の充実を図りながら、理解と定着に向けた具体的な取り組みを更に進める必要があると考えます。

また②に関して「豊かな心の育成」「確かな人権意識の育成」をめざし、取り組みを進めて参りました。各学年における人権学習の推進、道徳の授業の充実等を図ることで生徒の 9 割以上が肯定的に取り組みを評価しています。又保護者からも 8 割の肯定的な評価をいただくことができました。職員の研修会への積極的な参加および地域と連携した取り組みの強化、併せて学年集団の状況を踏まえての日常の指導や取り組みを評価して

いただけたのかと推察します。



③に関してはキャリア教育の充実を昨年度に引き続き重点目標に掲げ、推進計画に基づき、各学年で取り組みました。職業調べや高校調べ、職場体験学習や進路選択にかかわる学習、仕事や生き方についての学習などを計画的・系統的に進めた結果、9 割強の生徒が「自分の生き方や自分の将来を考える上で役に立つ学習であった」と回答しています。また 9 割近い保護者から「適切であった」という評価を得ることができました。今年度のキャリア教育の取り組みが昨年度以上に充実し、確実に成果として現れたものと考えられます。

最後④に関しては、生徒指導上の問題への対応において問題の早期発見・早期解決をめざし、全員危機感をもって対応する、という思いで解決を図ってきました。

その成果が出たのか 9 割以上の生徒が肯定的な評価をしています。しかしながら 1 割弱ではありますが、保護者から不十分という回答をいただきました。今後はさらに危機管理意識を高く持ち、生徒が安心して学校生活を送れるよう問題の早期発見・早期解決に努めるとともに職員間の連絡を密にすることで組織的対応のできる体制づくりをめざします。また、「充実した学校生活」の項目においても 9 割以上の生徒が「学校生活は楽しく充実している」と回答していますが、相談活動の充実、生徒の視点や立場に立った仲間づくりに取り組んできた成果がここに出てきているようにも思われます。

しかしながら「部活動の充実」については他に比べ評価は低く取り組み内容、指導の充実等いろいろとご意見をいただきました。これらについては真摯に受け止め、再度全職員が、その教育的意義を認識することで今後指導に当たっていきたいと考えます。

尚、西陵中学校についてのアンケート結果、分析と今後の方針を裏面に掲載しますのでご一読ください。今後とも本校の教育に対しましてご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年度 西陵中学校についてのアンケート結果 分析と今後の方針

アンケート実施時期：平成23年12月初旬

1 教育目標実現に向けた努力

保護者の約9割から「全体的に見て満足のできる状態である」との評価をいただいています。生徒については9割以上の生徒が肯定的に受け止めてくれています。今後も評価をもとに学校づくりビジョンの見直しや実現に向けた努力を引き続き行い、様々な機会を通して取り組みの成果を生徒、保護者へともにわかりやすく伝えていくようにします。

2 充実した学校生活

9割以上の生徒が学校生活を楽しいと感じており、多くの生徒が学校生活に満足していると言えます。また、保護者からも9割弱と同程度の割合で肯定的な評価をいただきました。定期的な教育相談や日常の取り組み、スクールカウンセラーとの連携を適切かつ迅速に行い、課題の解決に取り組んでいる結果とも言えます。しかし、少数ですが「学校生活が楽しいと思えない」と答える生徒が存在するのも事実です。教育相談の充実とともに、生徒の視点や立場に立った仲間づくりにしっかりと取り組み、一人ひとりが充実した学校生活を送れるよう改善を図っていきます。

3 わかる授業

9割の生徒が、「先生たちは、授業をていねいにわかりやすく教えてくれる」と答えています。また、教師も大半が「授業改善・工夫を行っている」と回答しています。校内研修の充実や教師全員が相互に授業公開を行う取り組みの成果の現れとも言えます。しかし、授業がわかりにくいと回答している生徒がいるのも事実であり、このことをしっかりと受け止め、授業の見直しや改善、生徒の家庭学習の充実を図りながら理解と定着に向けて取り組みをさらに進めていきます。教師全員がわかる授業の実践を目指しこれからも努力していく所存です。

4 適切な評価

生徒の約9割が肯定的な評価をしています。シラバス(学習計画書)の見直し、配布、そして指導にあたって適切な評価を心がけた結果と言えます。ただ生徒の1割と保護者においては3割弱が否定的な回答をしていることを受け止め、今後も教師自身が適切な評価について見直しを図ることで生徒や保護者に理解を求め、その評価が次に活かされるよう努めていきたいと考えます。

5 キャリア教育の推進

生徒からは9割以上、保護者からも9割近い肯定的な評価をいただきました。キャリア教育推進計画にもとづき、職業調べや職場体験学習、高校調べ等、1年生から段階的・系統的に進めている成果の現れであるとも言えます。自分の生き方や自分の将来を考える上で、生徒が実感できる、有効な教育活動であったと言えます。今後も、計画の見直しと実践の積み上げを行い、生徒が自ら進路を考え、拓いていけるように充実を図っていきます。

6 道徳・人権教育の充実

生徒からは9割以上、保護者からは8割の肯定的な評価をいただきました。職員の四同研をはじめ各種研修会への参加率の増加、地域と連携した取り組みの強化、そして特に学年集団の状況を踏まえた日常の指導や取り組みを行った成果ではないかと考えます。しかしながら保護者からの2割の否定的な評価も含め、道徳の時間はもとよりすべての領域、教育活動において人権教育の充実を図り、仲間づくりに重点を置いた指導を心がけ、生徒や保護者にそのことが実感できるよう、対応していきたいと考えます。

7 仲間づくり

ほとんどの生徒は学級の仲間や友達との関係がうまくいっていると回答しています。しかし、約1割の保護者からは「学校の努力が足りない」との意見をいただいています。今後も教育相談に力を入れるとともにスクールカウンセラーとの連携を通してアドバイスや指導を行いながら、生徒が円滑な人間関係を築けるよう、改善や集団づくりを行っていきます。

8 危機管理体制

生徒、保護者ともほぼ9割が安全に学校生活を送れていると感じています。学校生活での安全はもちろん、学校外、登下校時の安全のため、教師による下校時の安全パトロールを定期的に実施しています。本年度は大きな事故こそ起きなかったものの、安全マナーが悪いとの指摘も多く、学校全体での指導もたびたび実施しました。また防災面においても今年度、防災マニュアルの見直しと作成、様々な角度からの避難訓練の実施と、3.11の教訓に基づき安全・安心な学校を目指し取り組んでいる毎日です。今後も生徒の安全意識を高め、安全確保のための体制作りをめざしていきたいと考えます。

9 生徒指導上の問題への対応

生徒指導については、問題の早期発見・早期解決をめざして共通認識を持って取り組むという原則が徹底できていなかった反省を踏まえ、問題の早期発見・早期解決を目指し、全員が危機感を持って対応する、という思いで解決を図ってきました。しかし1割弱の保護者から不十分との回答をいただきました。今後はさらに危機管理意識を高く持ち、生徒が安心して学校生活を送れるように問題の早期発見・早期解決に努めるとともに職員間の連絡を密にすることで組織的対応のできる体制づくりをめざします。

10 教育相談

毎学期の定期的な教育相談や生徒との日常的な関係づくりの中で、相談活動は定着してきています。それというも年度当初、教育相談の意義について担当より話がなされ、職員全員が共通認識の下でこれまで積極的に取り組んできた成果であるように思われます。又、担当より定期的に保護者に向け広報活動もなされスクールカウンセラーとの相談件数も増加しつつあります。今後も担任と保護者とカウンセラーとの連携を強化することで解決につながる相談活動の充実をめけていきます。

11 部活動の充実

約8割の生徒は、「部活動は楽しく充実している」と評価しています。普段の活動の様子からも、熱心に活動している姿が見られます。しかし、保護者の約3割から「そうでない」と回答をいただきました。もっと取り組みを増やしてほしい、指導の充実を図ってほしい等の指摘もいただきました。これらの指摘に対して真摯に受け止め、再度全職員がその教育的意義を認識することで、今後指導に当たっていききたいと考えます。

12 保護者・地域との連携

8割5分の保護者から肯定的な評価をいただいています。また、9割以上の生徒が、地域の人や外部講師による学習活動が役に立つと感じています。教師以外の授業や学校外での活動を行ったり、保護者や地域の方に授業や行事を公開して生徒について話し合う機会を設けていることが評価されていると思います。併せて今年度は防災に関わって校区のPTA役員の方と協議する機会も得られました。今後さらに地域との連携を図っていく必要があります。

13 情報の発信・受信

生徒や学校の様子は、学年通信や学校通信、ホームページのお知らせボードなどに掲載するとともに、学校ホームページの更新により、学校全体として情報提供に取り組んできました。その結果、8割以上の保護者から肯定的な評価をいただく事ができました。しかし、更新されていないページもあり、これらについて課題も残りました。残された課題解決に向け努力すると共に、今後も情報内容の充実とタイムリーな発行・発信、また生徒への学年通信等による働きかけを行い、学校と家庭・地域がつながる取組、努力を行っていきます。